

抗議文

八人文第 25 号
2019 年 6 月 3 日

在本邦アメリカ合衆国大使館
特命全権大使
ウィリアム・F・ハガティ 閣下

日本国大阪府八尾市長
大松 桂右



この度、5月25日付報道で、貴国がネバタ州の核実験場において、本年2月13日に臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

国連で核兵器禁止条約が採択され、国際社会が「核兵器のない世界」に向けて努力するなか、貴国の行為は、世界の平和と安全を脅かすものであり、被爆国の自治体の長として、断じて許しがたく、激しい憤りを覚えます。

この臨界前核実験は、核軍縮・不拡散に向けた国際社会の取り組みに逆行するばかりか、世界の恒久平和をめざし、地道な活動を続けてきた人々の思いを踏みにじる暴挙として、深い失望感を抱くとともに断じて容認できないものであります。

ここに、本市は、貴国の核実験の実施に対し、厳重に抗議するとともに、今後、一切の核実験を即時中止し、真摯に核軍縮に取り組み、「核兵器のない世界」の実現に向けた主導的役割を果たされるよう強く求めます。